

等級基準と対応役職

等級	等級基準	対応役職			
5	<p>担当部門を軸に幅広い業務知識と経験を有している。経営的視点から部門を統括し、常に高度で適切な判断を行なうことができる。経営理念・クレドや事業の方向性を理解し、部門の全てのスタッフ・業務に責任を持ちマネジメントをしながら、会社全体の利益を意識した部門運営を行なうことができる。</p>			部門長	執行役員
4	<p>担当部門において幅広い業務知識と経験を有している。経営的視点から部門全体を統括し、常に高度で適切な判断を行なうことができる。経営理念・クレドや事業の方向性を理解し、会社全体の利益を意識しながら部門運営を行なうことができる。</p>			マネージャー	マネージャー
3	<p>担当業務において高いレベルの知識・技術・能力を有し、複雑もしくは非定型業務の対応をも対応することができる。スタッフを指導、統括することができる。経営理念・クレドや事業の方向性を理解し、店舗・会社の利益を意識した行動ができる。</p>		副店長	店長	マネージャー補佐
2	<p>担当業務において必要なレベルの知識・技術・能力を有しており、一般的定型業務を問題なく遂行できる。経営理念・クレドを意識し、一般スタッフの指導をできるレベル。クレームやトラブルにおいては、自己の裁量の範囲内で判断して対処することができる。</p>		一般		
1	<p>具体的指示、定められた手順に従って、その業務の意味を理解した上で定型業務を行なうことができる。経営理念・クレドを意識して行動できる。</p>				